

## 挨拶・趣旨説明

アジア産業研究センター研究員／専修大学大学院商学研究科長・商学部教授

渡辺 達朗

皆さん、こんにちは、専修大学の渡辺です。今日は久しぶりにいいお天気になりましたね。

「アジア産業研究センター」では、メコン地域を中心とした地域を対象に、ASEAN サプライチェーンという観点から、経済統合が進む中で、日本企業、特に日本の中小企業にどのようなビジネス環境の変化、あるいはビジネスチャンスが生まれるかということを研究テーマとし、文部科学省の予算で5年間研究を続けさせていただいています。

今年はその2年目にあたっており、本日は今年2回目の国際シンポジウムです。第1回でテーマとしてとりあげたのは、中国の企業とベトナムの小売業の展開についてでした。今回は焦点をベトナムに当てまして、これまで我々が交流をしてきたベトナムの2つの都市の大学から講師をお招きして、それぞれの地域の状況についてお話をいただくことになっています。

ご承知のように、ベトナムは南北に長い国で、南と北では気候風土も全然違いますし、食文化も違います。そのため、北部地域の状況については、ハノイにあります国民経済大学（NEU）のバン・ホア先生からお話をいただくことになっています。また、中部地域につきましては、ダナン経済大学のグエン・グエン先生からお話をいただきます。

南部につきましては、中小企業基盤整備機構のアドバイザーで、ホーチミンに長く駐在されていたご経験がある山本さんにパネルディスカッションのコメンテータとしてご参加いただきます。これで北部、中部、南部そろってお話をお聞きすることができるというような組立になっております。

全体を通じて時間の許す範囲で、皆さま方からご質問もお受けすることができますと思います。長い時間になりますが、有意義に過ごせればと思っております。活発な討議がなされますことを期待しておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

私のご挨拶はこれで終わらせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。